



CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院 2009.3・4月号 NO.132



アブステナンスを守ることの祝福

「ピュリテイ」純潔

CFNJ 聖書学院国際部長 グドール ジェラルド



■2004年に札幌市教育委員会が札幌市内の高校2年生を対象に、「性意識調査」を実施しました。その結果セックスをすることが「かまわない」「どちらかというとかまわない」としたのは、男子の87%、女子の76%。これは、全国調査での、男子65%、女子58%を上回り、札幌市の「セックス容認率」の高さがわかるものです。これは札幌に置かれている私たちにとっては他人ごとではありません。教会に集う中高生はこのような環境の中に置かれ、日々誘惑にさらされています。ですから各教会で、また各家庭で私たちは若い人たちが清い歩みをするができるように、励まし、教えていかなければなりません。

つい先日の日曜日に私たちの教会で、「結婚までセックスを控える」ことを誓うしるしとして、「ピュリティ・リング」を若者に贈呈する式を行いました。これは教会で行うのは初めてのことでしたが、12歳から20代までの30人に贈呈されました。30人の若者が心と声を合わせて純潔の誓いをし、見守る大人たちもまた、主の御前で自分をきよく保つことを誓う姿は、とても美しいものでした。ピュリティ・リングを受け取った若者たちの顔は喜びで輝いていました。嬉しくて涙を流す女性もいました。もちろん、ただ指輪を渡せばいいということではありません。結婚までセックスを控えることの意味を若者に教えていかなければなりません。それを共に学びましょう。

アブステナンスを守ることの祝福

■アブステナンスとは、直接的には、「結婚までセックスを控える」ことを意味する言葉ですが、今では「聖書が教える性倫理」を意味する世界共通語となっています。アブステナンスは聖書の教えであり、個人にとっても社会にとっても霊的、精神的、肉体的な健康につながります。アブステナンスを守る事こそが真の自由

と深い喜びを得る秘訣です。その具体的な祝福とはなんでしょうか。

1. 聖書の教えに従う事により、神様を喜ばせる

(1コリント6:18-20)

■この世の考え方に影響を受けて次のような事を言う若いクリスチャンがいます。「聖書の中には結婚前にセックスをしてはいけないとはどこにも書かれていません。愛し合っていればいいんじゃないですか?」と。しかし聖書にはハッキリと、「不品行を避けなさい」(18節)とあります。「不品行」とは、ギリシャ語のポルネイアまたはポルノスから来ており、一般にあらゆる形の正しくない性的関係に身をゆだねることを指します。結婚前のセックスは不品行であり、私たちが避けなければならないものです。さらに、「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい」(20節)とあります。性的誘惑に打ち勝つ一つの秘訣があります。それは、「悪いことをやめよう。やめよう。」と努めるよりは、私たちが愛し、私たちのためにご自身の尊い命をささげるほどに愛してくださった方に注目することです。この方の自分に対する愛を深く知ることです。主の愛がわからないのならば、真剣に主の愛の啓示を求めることです。主は必ずご自分の愛を示してください。そしてこの方の愛に応えて生きようとするのです。私たちが不品行を避けて、清い歩みをするとは神様を大いに喜ばせるのです。

2. 自分の体に対しての罪悪感で悩まない

「人が犯す罪はすべて、からだの外のもので。しかし、不品行を行なう者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。」(1コリント6:18)とあります。

■男女が性関係を持つと、それだけで特別な関係になったような感じがします。婚前性交渉をした後も、しば

らくは肉体的にだけでなく、感情的にもいい気持ちでいるかもしれません。しかし必ずその後悪い感情が入り込んできます。ある人は恥を感じます。セックスを愛の表現と感じている人は相手から愛を返してもらわなかったら、怒りや拒絶を感じ、復讐心さえ起きます。婚前性交渉は必ず罪責感を起こします。なぜなら私たちは神様の意図に違反したら罪責を感じるように造られているからです。ヘブル13:4には「結婚がすべての人に尊ばれるようにしなさい。寝床を汚してはいけません。なぜなら、神は不品行な者と姦淫を行なう者とをさばかれるからです。」とあります。人は神様の原則を認めようと認めまいと、それを破る時罪責を感じるのです。しかも、セックスをするということは、人間の永遠性、霊性に深く関わっていることです。性交は単なる肉体関係ではなく、いのちの霊的な交わりです。夫婦が一心同体となるこの体験を聖書は「奥義」(エペソ 5:31,32)とさえ呼んでいます。ですから結婚していない者同士が性交をすると、この祝福された体験を誤用、乱用していることとなります。アブステナンスを守ることによって、罪責感から守られるのです。

3. 性感染症の心配がない

■北海道の10代の性感染症罹患率は全国の約2倍あり、都道府県別順位ではなんと1位です。風俗営業の女性の高い割合が性病を持っていますが、それが高校生にも広がっているのです。

北海道ではHIVの検査数も少なく、自分の感染を知らずにいる人が多いと推測されています。世の中では、「セーフセックス」と銘打ってコンドームを使うことを盛んに宣伝していますが、HIVウィルスはコンドームの繊維よりも小さいのです。つまりコンドームを使ってもHIVウィルスは伝染するのです。コンドームを使っ

ているからと言って「セーフ」とは言えないのです。唯一の「セーフセックス」とは、聖書が教える通りアブステナンスを守り、結婚した後も一夫一婦制の原則を守る夫婦の間でしか存在しないのです。アメリカでは、「コンドーム等の避妊用具を使って安全なセックスをしましょう」という性教育をここ2~30年間行ってきましたが、その結果10代の性行為と妊娠が400%も増えました。ウガンダではHIV感染が猛威をふるっていたのですが、アブステナンス教育を導入することによって、1991年から2001年にかけて、新たなHIV感染者が70%も減るという劇的な効果をあげています。ウガンダ・エイズ委員会の勧めには、コンドーム使用が盛り込まれていません。アブステナンスを守るならば、性感染症に関して一切心配することがなく、真の自由を味わい、若い命を尊いことのために用いることができます。

4. 結婚相手にきよい体をプレゼントできる

■ピュリティ・リングの誓いでは、このように言います。「本当の愛は待つということを信じ、私は、神様に対して、自分に対して、家族に対して、私の将来の結婚相手に対して、そして私の将来の子供に対して、この日から、聖書に基づいた結婚をする日まで純潔を守り、また、生きている限り清く歩むことを誓います。」結婚の日に生涯の愛を誓う結婚相手に、「私はあなたのために体をきよく守りました」と言って結婚できることは何と幸いなことでしょうか。結婚式で花嫁が着る真っ白なウェディングドレスは、清さの象徴です。その意味が失われないためにもアブステナンスは守る価値があります。ぜひこれを若い人たちに教えていきたいですね。■

※ピュリティ・リング贈呈式やアブステナンス教育についてのお問い合わせは、学院事務局まで。■

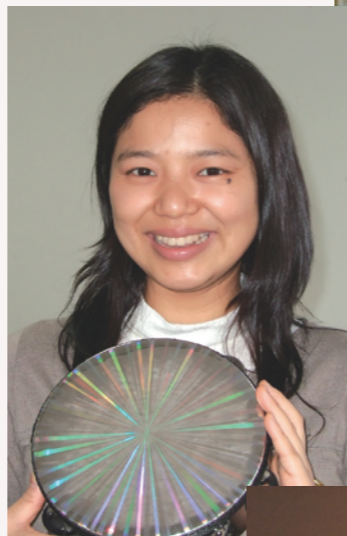
神様の愛に囲まれて

まことに、みことばは私を生かします。
(詩 119:50)

「賛美の中に！」

(CMPコース) 棟安絵里子

●こんにちは！学院一年目の私は、初めての北海道の冬を体験しています。今年は雪が少ないそうですが、ほとんど雪の降らない関西出身の私は、白い世界に毎日が感動です！さらさらの雪が降ってくるだけで嬉しくて、みんなで子供のように雪遊びをしたりします。学院では毎朝賛美礼拝があり、毎日神さまの御前に心を注ぎ出すことからスタートです。神さまは賛美の中に住まわれるってほんまやなあ。賛美礼拝後の授業でも神さまからいろいろ語られ、神さまとの関係がどんどん深まっていくのを感じます！今、ハマっているのは選択授業のタンバリンです。授業以外にも、受講生みんなで集まって練習し、仲間と励まし合いながら楽しく学んでいます！



「主にある生活」

(一般コース) 澤村愛

●私が学院に入学して学んだことは二つあります。一つ目は、主に従順であることは現実的であるということです。日々の生活の中で授業や奉仕の時間以外の過ごし方は各自に委ねられています。生活をどのように管理するか、主が何をすることを望み、導いておられるかを求め、聞き従うことは、とても身近で現実的な営みであると言えます。二つ目は、主にある家族の存在です。一人一人の人生背景は異なりますが、共同生活をする中で共に主を愛する一つの家族であることを思われます。身近に祈り合い、励まし合い、又指導をしてくださる先生方や兄弟姉妹の存在は神様が与えてくださった恵みです。最後にこのような環境を与えてくださった神様を始め、祈り支えてくださったお一人お一人に心から感謝します。

「情熱！」

(一般コース) 増田成遂

●学院のおススメの点は、なんとと言っても、素晴らしい講師の先生方です!! 様々なタイプの先生方がいらっしゃるの、聖書のイロハからどこでギャグを言ったらうけるのかを学ぶ事ができます(笑)そして、世界中で活躍している多くのゲストが学院を訪れます。僕は、毎回先生達から、熱い情熱をもらっています。学院では、イエス・キリストという人生の土台を築きあげる事ができます。あなたが最高の人生を歩みたいと、思われるなら是非一緒に学びましょう!! 最後に、入学する皆さんに一言! 学院の食事は…うますぎます!!! で、太ります(汗) 気をつけてください!! それでは、入学お待ちしております。共に、命懸けで歩いていきましょう!!



「卒業したくない！」(ALPS&CMP コース) 大久保旨子

●卒業を目前にして、私が心から叫びたいのは「卒業したくない!!」この一言です。毎日の充実した学院生活を本当に楽しく過ごしています。何よりも神様が聖別されたこの環境で、より神様と親密になりました。一般コースを卒業した私は三年目に CMP コースに進み、1-2 時間目がアルプス、3 時間目が CMP といったバランスの取れた素晴らしい学びができています! 午後の選択授業も私の楽しみの一つです。ゴスペルフラダンスをもって主を礼拝するときに、本当に神様を近く感じます。美味しい食事! 本当に働きやすいアルバイト先! 力の源、賛美礼拝! 楽しい実習! ...良いところを挙げるときりがありませんが、すべて主の恵み。感謝が尽きません。

「私はこの学院が大好きです！」

(一般コース) 滝沢真一

●ポイントは以下の3点です。

- ①学びと実践のバランス 机上の勉強のみならず、それを実践する機会が多く設けられています。地域伝道や様々なイベント・奉仕の機会を通して学べることは、将来、大変役立つものだと思います。
- ②御言葉と御霊のバランス 聖書の学びは勿論、祈りや御霊の賜物に関して実践的に学ぶことができます。また科目に関しても、神学的な内容だけでなく、より実践的な分野も充実しています。
- ③神学的な幅広さ 国内外から多数のゲストスピーカーの先生が来て教えてくださいますので、日本にいながら国際的な感覚を養うことができ、自分の世界観が広がります。

新入生の紹介

2009年1月13日(火) 入学式



田中 博師からの祝福の祈りを受ける田口姉妹

3学期のスタートとともに新たに「田口れん姉妹」が学びをスタートしました。いきなり寒い時期からの北海道での学校生活、健康で充実した日々を過ごすことが出来るようにお祈りください。

ハレルーヤ! 主の御名をほめたたえます。この学院でみことばの学びをスタート出来ることを感謝しています。日々、イエスさまを深く知り、そして、主を愛する者へと変えられていきたいです。



東京都 田口れん

2009年度 まだ間に合います!
あなたも招かれています!
新年度、4月からの入学生を募集しています。

- ★アルプス(牧師リーダー)コース
- ★1・2年コース
- ★CMP(児童・親業)コース
- ★短期コース
- ★通信・聴講制度
- ★演劇・ドラマコース
- ★タンバリンクラス
- ★ワーシップダンスクラス
- ★ドラムクラス
- ★フラッグクラス
- ★ピアノクラス
- ★パーナークラス
- ★英語クラスほか

※詳しい資料ご希望の方は、学院事務局までお知らせ下さい。
又は、ホームページをご覧ください。 www.cfnj.com

World Prayer and Share Letter
 とりなしての皆様へ
 世界の為の祈り
 ダイアン&チャールズ グリコ



オバマ大統領が妊娠中絶支援法案に署名する。

●世界中の妊娠中絶を促進するためにアメリカ市民の税金が使用されます。* これまでアメリカで選ばれた大統領の中で最も中絶を支持するオバマ大統領は、「メキシコシティー・ポリシー」(中絶支援団体に対して米国納税者の税金が渡ることを禁じる政策。中絶が合法にならないように、また家族計画方法としての中絶が普及しないようにする政策) をくつがえす行政命令に署名しました。このことによって、現在オバマ政権は、人口抑制の一環として海外でも妊娠中絶を盛んに奨励する妊娠中絶団体の手に何百万ドルも渡すことができます。更に妊娠中絶補助金を米国陸軍病院に提供し、胎児を粉砕する医学研究に資金を供給し、以前、中国で強制的な中絶と不本意な避妊手術の方針のため差し控えられた国連の人口基金にお金を寄付することもできるようになりました。

(* Texans for Life Coalition www.texlife.org)

(編集者注) 第6戒「殺してはならない。」(出 20:13)は、偶然の殺害や戦時の殺害、死刑(このうち戦時の殺害と死刑は、墮落したこの世を管理するために神が定めた政府に与えられている制裁です) について言及しているのではなく、神様が、人の命は「神聖である」とみなしておられるという事実を示しています。それゆえ、神様は意図的、且つ残酷に他の人の命を奪うことを禁じておられます!

クリスチャンのリーダーとクリスチャンの両親が妊娠中絶の霊に抵抗するようお祈りください。中絶をする女性、および女性の中絶に責任がある男性が、結局のところ彼らの間違った選択の結果、自らが犠牲者になることを認識してください。神様はなおも彼らを愛し、彼らが天国で永遠に生きることができるように、その罪のために独り子イエスを死に渡してくださったことを知る時、彼らが悔い改めて救われるようお祈りください。信仰的な親が子どもたちに、受精の瞬間から命が始まること、御言葉は計画的、残酷的な殺人(胎の中でも外でも)を禁じていることを伝えていくことができるようお祈りください。また、子供たちは神様がシナイ山で与えられた道徳的原則は変わる事がなく、新約時代の恵みのもとでも明らかに支持されているものであることを知る必要があります。そして、中絶の罪は、国を激しい非難と最終的な破滅のもとに置くこととなります。

日本い於ける少子化の危機。

●人口増加は、国の経済成長を妨げるという事は本当でしょうか? * いいえ、そんなことはありません! 究極的な財源である人的資本の重要性を無視しているので、これは誤った考えです。日本を見てみましょう。高齢化が急速に進んでいるので、現在、労働者は、少子化を食い止めるべく様々な対策をとっています。しかし、日本は、2050年までに人口の21%が減ると予測されており、すでに現役を引退している人々を支えるために税

率をもっと上げていかなければならない状況に直面しています。ではアメリカはどうでしょうか。人口を維持するために1夫婦あたり2.1人の子どもを産む必要がありますが、この率は維持されていません。また、統計によると、ヨーロッパ経済は出生率の低下によって大きな痛手を負っていることを示しています。また、国民の年齢と成長率が、経済繁栄を決定するのを助けていることが研究によって明らかになりました。少ない労働人口は、より少ない総合的経済出力をもたらします。若い労働者が退職者と入れ替わることがないなら、健康保険と年金費用は衰弱化してしまいます。そして、国内市場が縮小すると設備投資も縮小します。したがって、景気を刺激する方法として人口を制限するのは、真の誤りなのです! (*Wall Street Journal, WSJ.com)

クリスチャンが、より高度な社会的、知的、経済的地位を獲得するという目的達成のために、子どもを「捨てることができる物」としてみなす貪欲の霊を拒絶することができるようお祈りください。聖霊様が父と母の心を子どもに向けさせ、子どもたちが心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして神を愛することを学ぶ助けができるようお祈りください。さもないと、次世代の信仰者は存在しないことになるでしょう! 「子供たちは主の賜物、胎の実は報酬である。」詩篇 127: 3

ロシアの終わりの時代の任務を「明らかにする」預言*

●「エゼキエル 38-39 章で、ロシアはペルシャ(イラン)との同盟を発展させてイスラエルを攻撃する、イスラエルの「最北」の国として記述されています。ロシアは既にイスラム世界の「主要な後援者」であり、イランの核兵器開発を支援することで、明らかにイスラエルの破滅に力を注いできたこととなります。また、ホンジュラス、ペルー、ベネズエラ、キューバ、ニカラグアの国々と同盟を結んで兵器を提供することによって、アメリカにとって非常に危険な敵になりました。」「イスラエルへの憎しみは沸点に達しました。神様の介入がなければ、イスラエルには生き残るチャンスがありません。国連はまもなく、「人道に対する罪」でイスラエルのリーダーと軍人を起訴するでしょう。」過去8年間ハマスがガザから発射した何千ものロケット弾に対するイスラエルの報復ゆえに。聖書は、いずれイスラエルは反キリストと平和条約を結ぶと述べています。聖書が予見するように、悪魔は自分の時が短いのを知って怒りに狂っているのです。(* Hal Lindsey's 2008 Prophetic Year www.HalLindsey.com より)

神様が、すべての信者の上に聖霊の油を豊かに注いでくださいますように。そしてユダヤ人の目が開かれ、イエス様が彼らの救い主イエシュアであると知ることができるように祈りましょう! ガザにおける「人道に対する罪」でイスラエルを有罪にしようとすることで、地球規模の波紋を投げ掛けようとしているイスラムの企てに対抗して祈りましょう。イランとロシアの関係が世界に脅威となってきており、世界的に経済が低迷し、地球規模の災難が増加してきていますが、神の民が利己主義的になることなく、コントロールを失っていくのようになる世の中にあって、ますます神様を求めていく事ができるように祈りましょう。デイビッド・ウィルカーソンは、私たちが神様に次のように求めることを熱心に勧めています。「天を裂いて下りてきてください。聖霊の炎を送ってください。すべての肉欲を溶かし去り、あなたのご臨在を私たちの間に現わしてください! 見張っている者、待ち望んでいる者、イエス様に飢え渴いている者はすでに最悪の状況の中でも超自然的な喜びを経験しています。このように話しかけてくる人々に証しをする準備をしましょう。『私はあなたがクリスチャンであることを知っています。私は今世の中で起こっていることで非常に困惑しています。どうかあなたが信じていることを私に話してください!』 大いなる収穫の時が目の前に来ています。(*www.worldchallenge.org)

2009年度1学期 講義スケジュール&

ゲストスピーカーのご案内
 ●卒業式 (3月6日 午前9時より)
 ●入学式 (4月13日 午前9時より)

1・2年コース (本科授業)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 時間目 AM8:45 ~ 9:40	「世界教会史1」 鍛冶川利文	「旧約聖書概論1」 田中信矢	「使徒行伝」 田中博	「信仰の土台」 藤江勇士	「比較宗教学」 松原望
2 時間目 10:00 ~ 10:55	「今日の聖霊」 ジェラルド・グールド	「約束の地を所有せよ」 三浦雅範	「伝道と賛美」 安田諭	「約束の地を所有せよ」 三浦雅範	「イエス・キリストの生涯」 ジェリー・ジャンセン
3 時間目 11:05 ~ 12:00					

アルプスコース (牧師・リーダー専科)

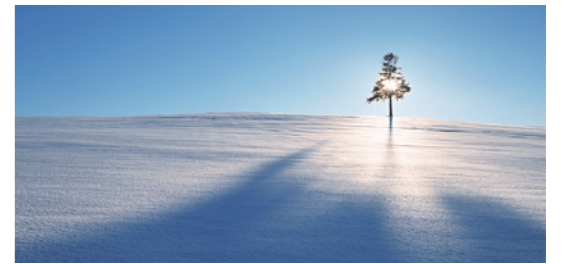
	月	火	水	木	金
1 時間目 AM8:45 ~ 9:40	「宣教と開拓伝道」 リチャード・グールド	「牧会カウンセリング1」 小栗昭夫	「人間論」 西森昌二	「牧会論」 田中博	「ヨブ記」 石田吉男
2 時間目 10:00 ~ 10:55	「今日の聖霊」 ジェラルド・グールド	「弟子訓練」 鍛冶川利文	「弟子訓練」 鍛冶川利文	「聖書釈義1」 松原望	「聖書釈義1」 松原望
3 時間目 11:05 ~ 12:00					

CMP コース (児童伝道・親業専科)

	月	火	水	木	金
3 時間目 11:05 ~ 12:00	「聖書的児童伝道」 アルマ・ベルメホ			「信仰的親業」 岡田留美子	「聖書の基礎」 アルマ・ベルメホ

選択科目

	月	火	水	木	金
午後 PM1:00 ~ 3:00	「ピアノ」 稲本妃美子	「ダンス」 スーザン藤井	「CMP実習」 鍛冶川紀子	実習	「ドラマ」 鍛冶川紀子



3月2日(月)~6日(金)
卒業式ゲスト
 新宿シャローム教会牧師
稲福エルマ師

1944年、米国ハワイ州ホノルル市で日系三世として生まれる。1974年から東京都新宿区に新宿シャローム教会を始める。1982年、国内の最初の枝教会を生み出す。現在10教会に及んでいる。CFNIJ聖書学院顧問。

●全体講義
午前9:15~
11:25迄の2時間



4月13日(月)~17日(金)
入学式ゲスト
 ホープチャーチ主任牧師
スティーブンケイラー師

アメリカ人の肉体に九州男児の血潮を持った情熱的説教者。イエスキリストを鮮やかに語り、礼拝を心から愛すると共に、聖書的で健全な教会と、純粋なクリスチャンを日本に建て上げるため、シェリー夫人と6人の子供たちと共に全力を注ぐ21世紀の牧師。

●全体講義
午前8:45~
10:55迄の2時間

6月16日(火)・17日(水)
新川誠師

1954年1月11日 生まれ。熊本聖書神学校で学び、1977年台湾の湾裡長老教会に宣教師補として赴任。以来、中国宣教師として香港・北京を拠点に宣教活動をする。1997年から北朝鮮の脱北者に対する宣教と支援活動を行い、2001年7月に大連に移ってから現在までは、教会奉仕、神学校建設支援、四川省被災者への宣教と経済的支援、大連の某会社(従業員約200人)への礼拝御言奉仕など様々な活動を行っている。話せる言語、北京語 広東語 英語 台湾語



6月22日(月)~26日(金)
アダムマッケイン師

19歳の時からフルタイムミニストリーに入りルイジアナ州パトナージュで10年間ユース・パスターとして働く。その間125の学生セルと15の高校クリスチャンクラブを導く。こよなく日本を愛し、過去3度、学院主催のユースキャンプ(YFN)のゲストとして来日。現在、アメリカCFNI学院長を務める。

●全体講義
午前8:45~
10:55迄の2時間

ボイラー献金のお願い!

また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます。(ピリピ書 4:19)

学院寮、暖房・給湯ボイラー (1991年製) 耐用年数15年を超え、交換の必要迫る!! 約650万円の必要!!

いつも学院の働きのためにささげ、祈ってくださる皆様に感謝いたします。神様の恵みと皆様の信仰と愛のこもった祈りや贈り物によって私たちは月々の必要が満たされてここまで学院を運営して来ることができました。本当に感謝します! 2002年に現在の場所に移転して以来、学生たちは主の恵みのうちに日々みことばを学び、寮での共同生活を通して訓練を受けて来ることができました。

年に一度、分解清掃と点検を実施し、これまでも故障した部分、劣化した部分の取り換え修理をしてきましたが、いつ止まってもおかしくない時期にあります。しかも、このボイラーは暖房と給湯を一台の機械設備で担っているのも止まってしまうと暖房とお湯両方の使用ができなくなります。厳寒の北海道の冬を考えると、万全の準備をしなければなりません。現状の設備で「オイル焚・真空式ヒーター」本体の交換であれば、同等機種で**約650万円**の予算が必要であることがわかりました。



学院の「緑の下の力持ち」である、ボイラーに関してお伝えし、ご協力いただきたいことがあります。現在、学院の暖房および給湯設備は、「オイル焚・真空式ヒーター」が使用されていますが、これは、学院が建物を購入した当初から備え付けられていた設備で、1991年製のものです。通常このような設備は使用頻度とメンテナンスにもよりますが、15年が耐用年数と言われています。つまり3年前にすでに耐用年数を迎えています。

とても大きな必要ですが、主が満たして下さることを信じています。読者のみなさまもこの必要を覚え、お祈りと共に、献金を持ってご支援いただければ幸いです。

※今後、必要な金額が与えられるまで「ボイラー献金」を募っていく予定です。ボイラーのために献金して下さる時はその旨明記してください。

YOUTH FOR THE NATIONS 2009

CFNJユース・フォー・ザ・ネーションズ

■日時:2009年 5月29日(金)・5月30日(土)・5月31日(日)

■ゲスト:西村希望師(みどり野キリスト教会)

■場所:CFNJ聖書学院 ※詳しくは学院事務局までお問い合わせください。西村希望師



5/29 (金)		5/30 (土)		5/31 (日)	
■テーマのみことば: ヨハネ4:35-36		朝	集会②	朝	一時解散(各教会へ)
		昼	レクリエーション& ユースリーダーセミナー 西村希望師	昼	野外伝道& ユースライブ
夜	集会① 西村希望師	夜	集会③ 西村希望師	YFNHP: http://www.yfnjapan.com YFN専用メール: info@cfnj.com	

2008年度CFNJ会計報告 (2008年1月~12月)

収入		支出	
前期繰越	2,101,459	給与手当	27,527,900
USA献金	18,183,145	謝礼金	764,860
団体献金	2,915,100	対外献金	391,000
個人献金	2,518,245	水道光熱費	6,775,916
授業料収入	7,225,156	旅費交通費	1,218,249
寮管理収入	10,015,000	印刷費	760,756
食費収入	3,640,750	通信費	1,389,909
その他の収入	910,231	消耗品費	871,928
		火災保険	246,440
		修繕・維持費	1,435,320
		食費(材料費)	3,560,979
		その他の支出	1,205,750
収入合計	47,509,086	支出合計	46,149,007
		次期繰越	1,360,079
	47,509,086		47,509,086



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688
●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

